

	自己評価	学校関係者評価	次年度の努力点
学校経営全般	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育目標については、生徒等の実態に即し、実践されている。 いじめや不登校については、教職員は積極的な認知及び初期対応を心掛けているが、より丁寧な聞き取りと保護者への情報提供等の対応が求められている。 SNSによるいじめが数件あり、学校では全貌が見えづらく、対応に苦慮している。 学校生活は、生徒・保護者共に充実したものと感じ、高い評価を得ている。引き続き生活ノートや教育相談等を活用し、よりよい学校生活が送れるよう、家庭としっかり連絡を取っていききたい。 コロナ禍が明け、学校行事等に保護者が参観する機会も増えてきたが、インフルエンザ等の感染症により急遽、体育祭が延期になったり、授業参観が中止になったりするなど、依然として予断を許さない状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの保護者は、学校の様子を見る機会が少なく、お子さんとのコミュニケーションが取れていない。できる限りの応援を考えてください。学校からの情報が伝わらない家庭も少なくないと思います。最新の情報伝達についていけない方もいる。大切な情報は確認が取れる方法でお願いします。 コロナやインフルエンザ等、厳しい状況が続く中でも様々な対策や工夫を施し、安定した学校運営を続けてこられたことに経緯を表します。そうした結果が生徒や保護者の高い評価が続いているという結果に表れています。 SNSのいじめ、目上の方への言葉遣い等々、問題が発生したらずぐに対応されていると思います。ただ、いじめまでには至らない、気づきづらい小さなことは、見過ごされてしまう可能性があるため、見守りが必要になってくるのではないのでしょうか。 予算が少ない中で、工夫していただいで感謝しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校目標に対しては、全般的に肯定的な評価が多いため、今後も「心身ともにたくましく何事にも挑戦していく生徒の育成」に向けて、具体的な取組を続けていく。 また、本校の教育活動が見えるようホームページやマチコミメール、学校だより・学年だより等をとおして、積極的に情報発信をする。 SNSを使ったいじめを減らすため、各学年において外部講師による情報モラル教育を実施する。また、不登校の解消を目指して、教育支援センター「アシスト教室」の充実を図る。 引き続き生活ノートや教育相談等を活用し、よりよい学校生活が送れるよう、家庭としっかり連絡を取っていく。 保護者が学校行事等の参観をしやすいう、早目の案内を心掛ける。
魅力ある授業	<ul style="list-style-type: none"> 今年度、学習指導要領における指導と評価、ICTを活用した授業展開等の研修を行った。教職員は指導方法を工夫改善し、わかりやすい授業の実践に努めているが、保護者には十分伝わっていない。保護者は学力向上のため個別指導の充実を求めている。 生徒は意欲的に授業に臨んでおり、より考えを深め、表現できるような授業の実践していく。 一方で、ワークなどの副教材については、提出することが目的となってしまう。 ICTを活用した授業については、研究主題として設定し、各教科工夫して取り組んでいる。 授業の配信については、希望があれば対応している状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員は生徒一人ひとりを個別指導していますが、保護者に伝わっていない。保護者は個別指導を望んでいる。また、他の学校と比べてしまうことがあり、学習の遅れを心配している保護者への説明をしてあげてください。 何回かの授業参観に行きましたが、いつでも生徒たちが真剣に、そして楽しそうに取り組んでいる姿を見ることができました。学年をまたいで横断的授業や課題学習の少人数授業など工夫した授業をしていると見てとれました。 教職員の方は、わかりやすい授業、興味を引くような授業、楽しい授業となるよう工夫されていると思います。 時代に合わせた授業や少人数で行える授業が多いとよいです。 	<ul style="list-style-type: none"> 来年度も引き続き、授業研究に努め、指導の充実に向けていくとともに、授業参観やホームページ等をとおして、保護者に授業の様子を積極的に見ってもらう。 個に応じた丁寧な指導ができるよう。指導過程等を工夫するとともに、数学科において、少人数授業の展開をしていく。 生徒が主体的に学習に取り組む意欲を喚起し、より深い学びにつながる指導方法の研究をしていく。 ワーク等の副教材については、家庭学習として宿題にするのではなく、授業の中で活用を図り、指導していく。 タブレットを使った授業配信については、体育以外のすべての授業で日常的な配信ができるよう取り組んでいく。
魅力ある学校生活	<ul style="list-style-type: none"> 委員会活動については、生徒の自治的な活動として、月ごとに活動の反省と目標設定ができているが、活動がマンネリ化してきている。特に、黙勤清掃は徹底して行えなくなってきた。 教育相談体制については、年3回教育相談期間を設け、担任だけでなく相談しやすい職員とも実施できるよう配慮している。 学校行事については、感染症による延期もあったが、なんとか実施することができた。 部活動については、生徒は意欲的に参加しており、本校の学校生活の大きな魅力であるが、教職員の負担の上に成り立っている。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナやインフルエンザが再発してきていたが、無事に体育祭が開催できたことは、地域の皆さんや保護者に元気な姿を見せることができ、大変よかった。 生徒中心の委員会活動、体育祭、合唱コンクールなど、自分たちが進めているという自覚を生徒たちが持っていることが素晴らしい。給食も何回か食べさせてもらいましたが、とてもおいしくよく考えられた内容でした。生徒が学校に来る楽しみの一つになっていると思います。 放課後等の時間を使って教育相談をされているとのこと、悩みがあってもなかなか自分から相談は…という生徒にとって、よい機会だと思います。悩みがなくても、先生と一対一で話ができる 	<ul style="list-style-type: none"> リーダーを育成し、生徒の自治活動をさらに活発にしていきたい。 生活の基盤である校内環境の整備に努め、生徒自身が自ら考え、行動できる清掃活動の実践に努めていく。 引き続き、年3回の教育相談を実施し、担任以外にも気軽に相談できるような機会を確保していく。 体育祭は、熱中症や感染症などのリスクを避け、安全に実施できるよう開催時期を検討する。 市内野球部を皮切りに、来年度から部活動の地域移行が始まる。土日のみであるが、教職員の負担軽減を図るとともに、生徒にとってより充実した活動になるようにしていきたい。

		<p>のは、よいことだと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生と生徒が歩み寄れる環境、安心して楽しく通える学校がよいと思います。 	
魅力ある夢	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、職場体験学習の実施が見送られ、保護者にとっては、キャリア教育の実施状況が見えづらくなっている。 ・生徒は高校学校調べ等、それぞれ興味関心に沿って個別に進路情報を調べているが、必ずしも本人の実力に見合ったものではないため、保護者に対しても積極的に情報提供を行う必要がある。 ・今年度、夢を育む授業は実施できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育として視覚障害者の気持ちが理解できる体験を行っている。多くの体験を行い、生徒に夢を与えてください。できればもう少し多くの体験をさせることを望みます。 ・学校だけで取り組む内容ではなく家庭や仲間、はては社会全体で考えねばならぬ課題。長い視点での取り組みに…。 ・社会福祉学習の取組、とても良い試みだと思います。将来のための視野が広がり、自分がこれからどのような生活・進路を気づいていきたいか考えるための一歩につながると思いました。それと同時に人を思いやる気持ち、優しい気持ちが生まれるのではないかと思います。 ・大変のことがあっても、それを超えられる楽しみがあること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育が目指す「基礎的・汎用的能力」は、係活動や委員会活動等、日々の学校生活の中で培われるものであるが、それを発揮できる場として職業体験学習に代わる機会を模索したい。 ・様々な情報を提供し、興味関心や適性を考慮したキャリア教育を多面的に指導するように努めていく。 ・生徒個々に寄り添った進路指導の充実を図るとともに、生徒と保護者が合意形成できるよう、積極的に情報発信し支援していく。 ・将来に夢や希望を持てるよう、夢を育む授業を生徒の実態に応じ、計画的に実施する。
安定した学校生活	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員は、挨拶や時間を守るなどの基本的な生活習慣を指導しており、生徒は概ね身に付いている。 ・個別に支援が必要な生徒に対して、きめ細かく対応できている。 ・保健・食育指導をとおして、生徒は自分の健康管理を適切に行っている。 ・教職員は、ICTを活用したわかる授業に努めている。 ・清掃活動については、生徒や保護者は黙々と取り組んでいると感じているが、教職員は、清掃中の私語が多く黙働清掃が崩れてきていると感じており、意識のずれが見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の健康を大切に考えて献立を作っていただきありがたいと思います。工夫も多くされていて食事を楽しみにしている生徒も多いと思います。生徒に学校に行こうと思わせる食事方法と思います。 ・とても安定していると思います。長欠生徒が多いことは学校だけでは解決できない問題ですね。 ・給食とてもおいしいです。一般的に嫌煙されがちな食材の味付けが工夫されていて参考になります。献立も工夫されていてよいと思います。 ・先生や生徒の体調管理、メンタルケアがしっかりしていること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動等をとおして、生徒自らが挨拶や時間を守るなどの基本的な生活習慣の定着を図っていく。 ・コロナ禍の中で、黙食を指導してきたが、来年度からは感染症の状況を見つつ、班隊形での会食を復活させていきたい。 ・相互授業参観をとおして、校内でICTを活用したわかる授業の実践から学び合う機会を設ける。 ・黙働活動については、各清掃場所において活動内容の確認を行う期間を設け、教職員から指示がなくても生徒自らが取り組めるようにする。
安心で安全な学校開かれた学校について	<ul style="list-style-type: none"> ・学校安全については、感染症や熱中症対策はとれていたが、冠水時の適切な対応ができていなかった。 ・情報発信については、今年度学校ホームページの閲覧数は、14083viewであり、多くの方に見ていただいた。 ・地域連携については、体育祭において桜ヶ丘区と緑ヶ丘区にテントを設営していただき、連携を図ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不審者情報は少なく安全な状態と思います。ただ学校の門が開いているときがあり、不安を感じるがありました。地域との連携が取れていてよい活動ができていた。民生児童委員との協力はとれていないと思います。いじめについて民生児童委員と連携して取り組んでいただきたい。 ・安心で安全はできていると思います。開かれた学校の視点では、もっと気楽に親しめるよう工夫が必要です。 ・学校でどのようなことをしているのか、在学生在が家族に居ないと知ることが難しいですが、ホームページ、学校・学年だよりで情報発信を積極的にされているので知ることができ、よいと思います。今よりもさらに学校・地域・保護者と連携が取れるようになることを望みます。 ・保護者が学校の様子を見られる機会を増やしたり、地域の人とのかわりを増やすといいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・冠水対応については、生徒とともに学区の「冠水マップ」を作成し、注意喚起を促す。 ・学校だよりや学年だよりなど、タイムリーに情報発信できるよう努めるとともに、より効果的に情報ツールを活用していく。 ・保護者、地域との一層の連携を図るためにも、民生委員会を主催し、学校を核として地域全体で子どもを育てる風土の醸成を図りたい。